

福まち通信

第 12 号

発行 平成30年3月20日

発行責任者 センター長

西岡会館 4条5丁目8-21

電話・FAX 854-0537

雪解けが進んでいますが、しばらくは油断できません。外出の際は十分にお気をつけください。毎月3日は、「見守りの日」です。ひとり暮らしの方のサポートをいつも心掛けて行きましょう。

3月の行事

2日(金) 西岡げんきランド・ひなまつり

※悪天候のため中止

3日(土) 札幌市「見守りの日」

13日(火) 第11回代表推進員会議

16日(金) 西岡げんきランド・おわかれ会

30日(金) 第11回役員会議

4月の行事予定

3日(火) 札幌市「見守りの日」

10日(火) 平成30年度推進員全体会議

イオンの日

11日(水) イオンの日

18日(水) 西岡げんきランド

27日(金) 平成30年度第1回役員会議

★第3回 安心安全研修会の開催結果報告～福まち活動の事例発表～

今回の研修会は、2月21日(水)10時～福まち推進員を中心に町内会長・自治会長や関係機関の方々が、全部で81名参加し、にしおか会館で開催しました。

2町内会に活動事例を発表してもらいました。その主な内容を要約してお知らせします。

I 町内会における福まち活動について

発表者 サニーヒル町内会 代表推進員 丸山 清司さん

1、高齢者の見守り活動のやり方など

○町内会(414戸)は、5区画29班の体制で、1～5区画の各班から1名ずつ福まち推進員を選任し、推進員(5名)は1年交替、ひとり暮らし高齢者(44名)の見守り活動を分担。

○周辺状況の把握や広報誌配布の際に、気掛かりな点などを代表推進員、町内会長に報告するなどの対応、そして訪問状況調査書(独自様式)を作成し、活用。

○また、年2回、情報交換会議を行い、各自の情報を持ち寄り、意見交換・情報の共有を図っている。参加者：町内会3役、福まち推進員、民生児童委員

また、随時、包括支援センターの方も招き、勉強会も併せ実施。

2、災害時要配慮者支援事業の継続実施

万が一、災害発生の場合、円滑な避難ができる様な体制をつくり、実地訓練を実施。

札幌市のモデル事業として平成22年度よりスタートし、継続実施、今年度9年目を迎えた。

○要配慮者(自力や家族の力だけでは避難できない、支援が要る方は29名)と支援者(43名)を手上げ方式に基づき名簿を作成し、組み合わせ体制をつくり、実施している。

○今年度は、2月に電話連絡訓練、6月に避難訓練を行った。支援者に加え、班長、役員がサポートする体制で対応。高齢化の中で、支援者の確保が難しくなっているのが、現状の悩み。

3、茶話会活動

○真駒内保養センター駒丘で8月26日、21名が参加し茶話会を開催。

○ひとり暮らし高齢者(70歳以上)の方を囲んで、昼食をとり楽しく歓談。

普段、外出を控えている方にも呼びかけし、役員が手分けして送迎。

○内容は、昼食のほか、包括支援センターの方が特殊サギの話題を提供、健康体操(ストレッチ)、クイズなども企画。

※これら地域に根ざした活動が、町内会加入率100%につながっていると発表から感じられた。

4、福まちの活動を通しての、丸山さんの思い・・・

○笑顔で訪問を 高齢者から何なの？と最初は戸惑いも、訪問を重ねるうちにお互いにスムーズに

○真心こめてあいさつを 新たにひとり暮らしになった方に丁寧に町内会の対応を説明。

その中で見守りカードの作成も円滑に行えている。

○楽しく見守りを お茶やお菓子を用意している方あり、推進員自身も楽しく活動できている。

II あかしや町内会の福まち活動 ～食事会、カーリンコン、映画会、スムージーなど多彩な茶話会～

発表者 あかしや町内会 代表推進員 野崎 由美子さん

野崎さんを中心に6名の推進員が、次々と発表(上村・花井・中・伊藤・松石さん)

1、福まち独自の茶話会—ふれあい茶話会 8月23日 22名参加

○健康体操(「見上げてごらん夜の星を」の曲に合わせ)、脳トレゲーム(「あんたがたどこさ」を口ずさみながら)、介護予防の本間さんの指導で対応。

○カーリンコン(カーリング競技を真似た室内遊技) カーリンコン協会 佐藤勝行さんの指導。

○食事会弁当とケーキ

○映画上映“さっぽろ今むかし” —「ちえりあ」から借用し上映。

また、やりたいね!との声もでていたとのこと。

2、町内会と共同企画の茶話会の開催

○お笑いの会:3月12日 北大 落ち研の落語、マジック、食事 男性陣の参加も多かった。

合わせて防災マップを配布し、防災意識を高めた。

○知っておきたい! 講座:7月30日 終活って何? 終活ジャパン協会の方の協力。

札幌市からの支援について 包括支援センターの協力。

○映画上映会:10月15日 “ローマの休日”(オードリー・ヘプバーン)

スムージーを一緒に作る。レシピも配布。おやつバイキングも取り入れ対応。

○餅つき大会:12月16日 子ども達も一緒に参加し、つきたての餅を食べ、大賑わいで楽しんだ。

3、あかしや町内会の活動のポイント

○ひとり暮らしの方(70歳以上)のほかにも呼びかけ、参加してもらう。

ひとり暮らしでない高齢者夫婦や70歳になっていない方も参加、男性も参加。

・高齢者も一緒に準備し、一緒に楽しむ、皆で参加型を目指している。

・アイデアを出し合い、知恵をしばり、皆で考えて、やりたいことをやる。

町内会と一緒に、老人会(和楽美会)とも連携協力して開催している。

・茶話会の模様は、動画の映像と音声で紹介され、皆で楽しんでいる様子が良くわかった。

○お互い顔が見えるまちを目指して

町内の福祉関係者が一緒に 福まちだけでなく町内会も一緒に 福まち以外のお友達も一緒に

そんな中で、認知症の方が家族と一緒に参加し、家族の方から、皆で見守ってくださいとの要望

もあり、“皆で知り合って仲良くしたい!皆と楽しみたい!”支え合いの輪が広がっている具体

例の紹介もされました。そんな町内の思いも研修参加の方に伝わったのではないのでしょうか

最後に、関係機関の方からは、いずれも町内会とがっちり力を合わせて、素晴らしい活動をされているとのコメントがありました。今後の福まち活動に大いに参考になった研修会でした。